様式第１４号(第１１条関係)

火薬類消費計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 工事等の名称 | 　 |
| 発注者 | 　 |
| 工期 | 年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで　　　　 |
| 消費期間 | 年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで・無期限 |
| 消費の方法 | 火薬類の消費見込数量(1か月最大) | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 発破の方法 | 1孔当たり装薬量　(最大)　　　　　kg　　　　　　　　電気1回の発破孔数　(最大)　　　　　個　点火の方法1日の発破回数　(最大)　　　　　回　　　　　　　　導火線1日の消費数量　(最大)　　　　　kg　込物1箇月の発破日数　(最大)　　　　　回　発破予定時刻 |
| 危害予防の方法 | 危険区域の表示 | 別図の位置に立入禁止、　発破時刻、　注意事項を表示する。 |
| 警戒員 | 警戒員　　　　　名を別図の位置に配置する。 |
| 避難場所 | サイレン　　　　振鈴　　　　呼笛によって警報する。 |
| 避難場所 | 構造　　　　　　　　　　　　位置は別図のとおり。 |
| 交通制限要・否 | 通行車両　　定期バス　　不定期自動車　　軽車両　　歩行者遮断時間　　発破前　　　分～発破後　　　分 |
| 住民への周知 | 　 |
| 防護措置要・否 | ブラステングマット　ブラステングシート　防爆マット　　たたみブラストフェンス　　飛石防止柵　　むしろ　　かます　　こも俵その他(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)を使用する。 |
| 火薬類取扱所 | 位置 | 安全で湿気の少ない場所に設ける。　火工所までの距離　　　　m |
| 構造 | 見張人を配置しない構造(　　　　　　　　　　　　)造り見張人を配置する構造　(　　　　　　　　　　　　)造り |
| 設備 | 境界柵　警戒札　照明設備　(配線　　　　　)を設ける。 |
| 管理 | 帳簿を備え責任者を定めて,火薬類の受払い状況をその都度記録する｡ |
| 火工所 | 位置 | 安全で湿気の少ない場所に設ける。　切羽までの距離　　　　m |
| 構造 | (　　　　　　　　　　)造りとし、作業台を設ける。 |
| 設備 | 周囲柵　警戒札　照明設備　(配線　　　　　)を設ける。 |
| 管理 | 帳簿を備え責任者を定めて,火薬類の受払い状況をその都度記録する｡ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 貯蔵場所 | 自己所(占)有火薬庫 | 所在地　種類、棟数　　　　　地上式　　　　　級火薬庫　　　　　棟有効期間(2級火薬庫のみ)　　　　　　　　　年　　月　　日まで |
| 庫外貯蔵所 | 所在地指示期間　　　　年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで最大貯蔵量 |
| 委託貯蔵する火薬庫 | 所在地種類、棟数　　　　　地上式　　　　　級火薬庫　　　　　棟 |
| 　貴殿所有の火薬類を消費期間中、私所有の上記火薬庫に保管することを承諾します。　　　　　　年　　月　　日住所　　　　　　　　　　　　　　　　　所有者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 運搬の方法 | 譲受先車両距離・時間 | (販売店名)自動車　　　二輪車　　　委託運送(委託先　　　　　　　　)取扱所　火工所　火薬庫まで　　　　km　　所要時間　　　　分 |
| 消費場所の火薬類取扱従事者の氏名 | 区分 | 氏名 | 年令 | 資格 | 保安手帳・従事者手帳 |
| 保安責任者(正) | 　 | 　 | 種 | 第　　号 |
| 〃　　(代) | 　 | 　 | 種 | 第　　号 |
| 〃　　(副) | 　 | 　 | 種 | 第　　号 |
| 　 | 　 | 　 | 種 | 第　　号 |
| 庫外貯蔵所責任者 | 　 | 　 | 　 | 第　　号 |
| 取扱所責任者 | 　 | 　 | 　 | 第　　号 |
| 火工所責任者 | 　 | 　 | 　 | 第　　号 |
| 発破場所責任者 | 　 | 　 | 　 | 第　　号 |
| 発破従事者 | 　 | 　 | 　 | 第　　号 |
| 　　　〃 | 　 | 　 | 　 | 第　　号 |
| 　　　〃 | 　 | 　 | 　 | 第　　号 |
| 　　　〃 | 　 | 　 | 　 | 第　　号 |
| 　　　〃 | 　 | 　 | 　 | 第　　号 |

　(注)　危害予防の方法、取扱所、火工所の概要、運搬方法欄は不要事項を消すか又は必要事項を○で囲むこと。

　添付書類　消費場所付近の見取図等